

# 会 議 録

会議録	令和2年度第2回山陽小野田市公民館運営審議会
開催日時	令和3年3月22日(月)14時～15時
開催場所	山陽小野田市民館 2階 第1・2会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営審議会委員13名 (丸田隆司委員 大井直博委員 平野唯男委員 坂本多門委員 岡本志俊委員 長谷川義明委員 伊藤博通委員 林紀男委員 大森弘文委員 平中政明委員 千々松正俊委員 小戸毅委員 大本章男委員)</li> <li>・事務局19名 (長谷川教育長 岡原教育部長 小野学校教育課主幹 船林中央公民館長 池田社会教育課長補佐 柿並中央公民館主任 來嶋係長 縄田主事 山根本山公民館長 中野赤崎公民館長 柴田須恵公民館長 井本小野田公民館長 姫井高泊公民館長 谷岡高千帆公民館長 山本有帆公民館長 江中厚狭公民館長 河崎出合公民館長 佐々木埴生公民館長 阿武厚陽公民館長)</li> </ul>
欠席者	2名(森本ひとみ委員 長谷亮佑委員)
担当課	中央公民館
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育長あいさつ</li> <li>2. 会長あいさつ</li> <li>3. 報告事項 (1)新型コロナウイルス感染症に伴うワクチン接種について (2)令和2年度山口県公民館報コンクール表彰受賞について</li> <li>4. 議題 (1)令和3年度公民館事業実施計画(案)について</li> <li>5. その他 (1)地域課題・現代的な社会課題に対応する公民館講座について</li> </ol>
会議結果	<p>○報告事項に入る前に第1回審議会で挙げられた検討課題についての回答を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討課題1 公民館における新型コロナウイルス感染症対策において、主催講座、公民館クラブ、貸館に関する、それぞれの取扱いが異なることにより、利用者の混乱を招いている。それに伴い、現場で対応している公民館長が大変苦慮している。公民館を管理する社会教育課が、今後、混乱を招かないように統一的な対応策を検討するべきではないか。</li> <li>・中央公民館からの回答 主催講座、公民館クラブ、貸館の取扱いについては、今後は取扱いが異ならないよう、統一した対応を行う。また、公民館長会議等で十分な協議時間を経て、現場に混乱を招かないよう情報共有をし、対応していく。</li> <li>・検討課題2 使用申請の取扱いについて、長期休館等が起こると、各公民館職員に還付手続き等の新たな負担が生じている。職員への負担が生じないようにするため、使用料の徴収を前払いでなく、事後払い等を検討し、還付手続きが発生しないような対応策を取るべきではないのか。</li> </ul>

・中央公民館からの回答

コロナ禍による休館中における使用料の徴収について、公民館長会議や教育委員会内で協議を行った結果、休館中の使用申請受付は、使用再開の目途が立たない事から、特例として仮予約での対応を行う。

#### ○報告事項

(1)新型コロナウイルス感染症に伴うワクチン接種について

現時点での本市におけるワクチン接種についての予定を報告した。現在、健康増進課において調整中であり、現時点では5月開始を予定している。公共施設での接種予定会場は厚狭地区複合施設体育館棟アリーナ及び青年の家体育館。それ以外では、医療機関での個別接種会場として、公的病院である小野田赤十字病院、山口労災病院及び山陽小野田市民病院、その他の内科系を中心とした医療機関を含めた30箇所程度を予定していることを報告した。

(2) 令和2年度山口県公民館報コンクール表彰受賞について

令和2年度山口県公民館報コンクールにおいて有帆公民館が受賞したことについて報告した。昨年度、有帆公民館が奨励賞を受賞したが、令和2年度は、上から2番目の優秀賞を受賞したことを報告。また、他館でも、たよりやチラシの作成に力を入れており、今後も広報活動を通じて住民の公民館活動への参加促進につなげていきたいことなどを報告した。

#### ○議題

(1) 令和3年度公民館事業実施計画(案)について

中央公民館から、来年度以降取り組むべき主催講座について説明を行った後、各公民館長から地域の課題解決に向けた取組みや、ひとづくり・地域づくり・学校づくりに向けた取組みについての説明があった。委員により承認された。

委員からの質疑

・公民館事業実施計画(案)の主な事業内容における対象や事業別種類が各公民館で表記の仕方が違うので、分析するのが難しい。事業内容における対象や事業別種類の表記の仕方について社会教育課で統一した方が分析しやすいのではないか。また、表記するなら対象よりも先に事業を記載するべきではないか。

中央公民館からの回答

・公民館の事業を進めていく中で、まず対象をどこにしていこうかという考えのもと、このような表記の仕方になっている。表記の仕方については、整理して検討していきたい。

#### ○その他

(1) 地域課題・現代的な社会課題に対応する公民館講座について

中央公民館から、本市のめざす公民館像についての説明。「個人の要望」だけでなく、「社会の要請」を重視した学びに対応できる公民館。コミュニティ・スクールや地域協育ネットをはじめ、学校、家庭、地域等の連携・融合をコーディネートする公民館。公民館クラブをはじめ、公民館における学びの成果を地域づくりへとつなげることのできる公民館。以上のように本市のめざす公民館像を説明。

また、国が求めている現代的な社会課題の解決に努める本市の公民館の事業を抜粋して以下3館の事業について説明。

- ・須恵公民館主催講座「初心者向けZOOM体験講座(スマホ限定)」
- ・有帆公民館主催講座「まなビット・ふれ愛カフェ～未来に伝えたい!有帆の年中行事～」
- ・埴生公民館主催講座「文化交流を深めよう!～ベトナム編～」

最後に今年度で退任する館長からのあいさつと岡本会長からの御礼があり終了。